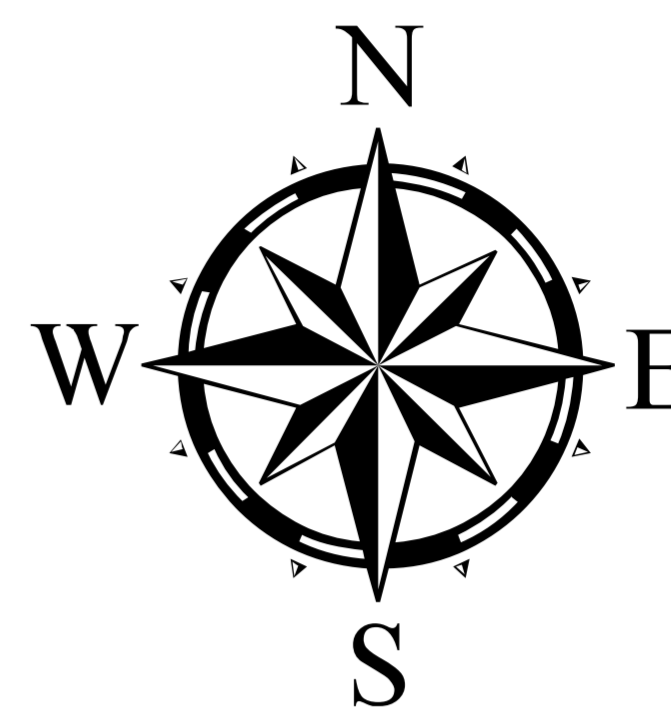
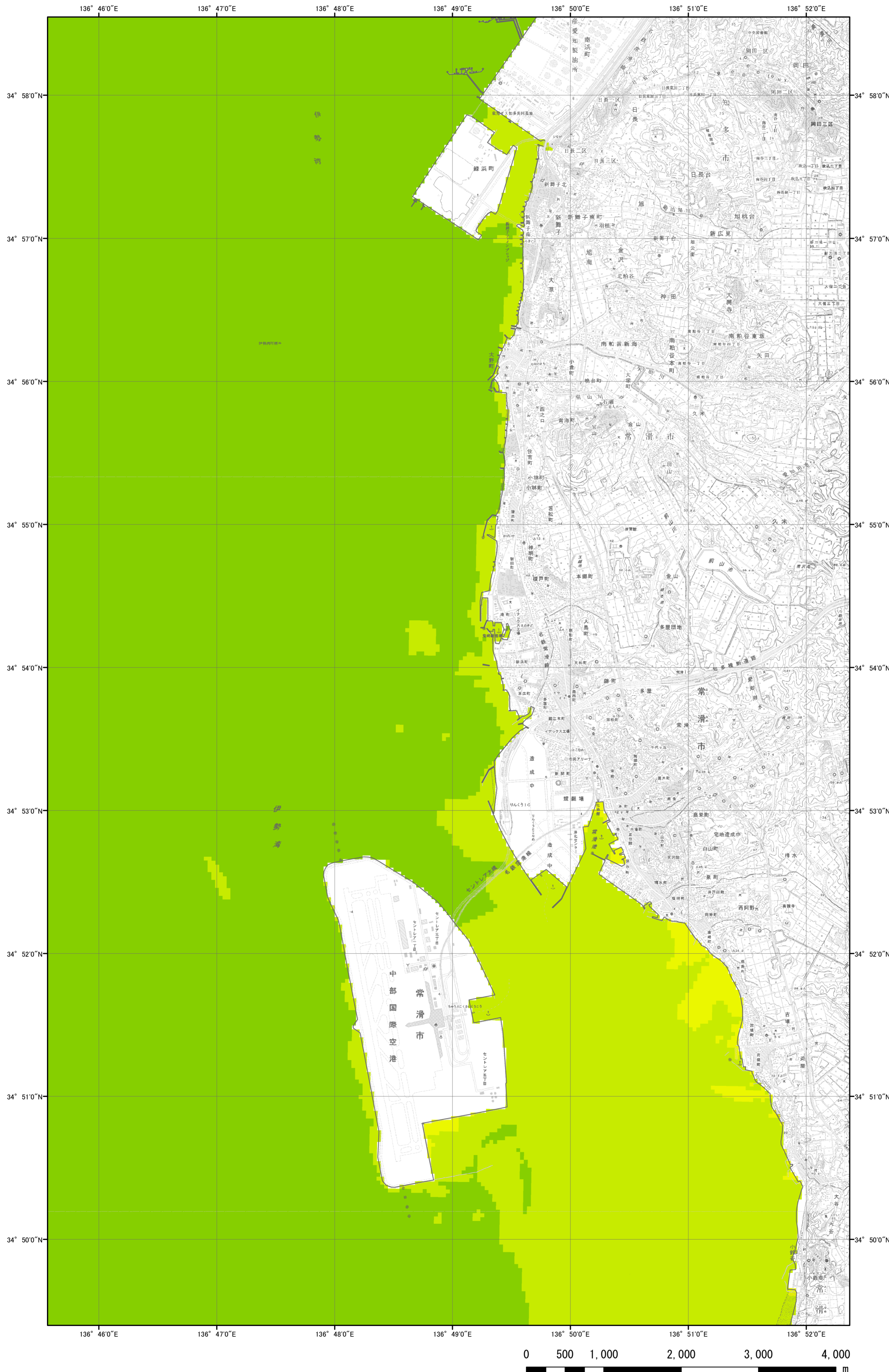


名古屋港南部 最大水位上昇マップ

計算条件：最高水面（零位）
 隆起量：平均 -0.75cm(-0.89cm ~ -0.61m)
 Zo：1.30m
 備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



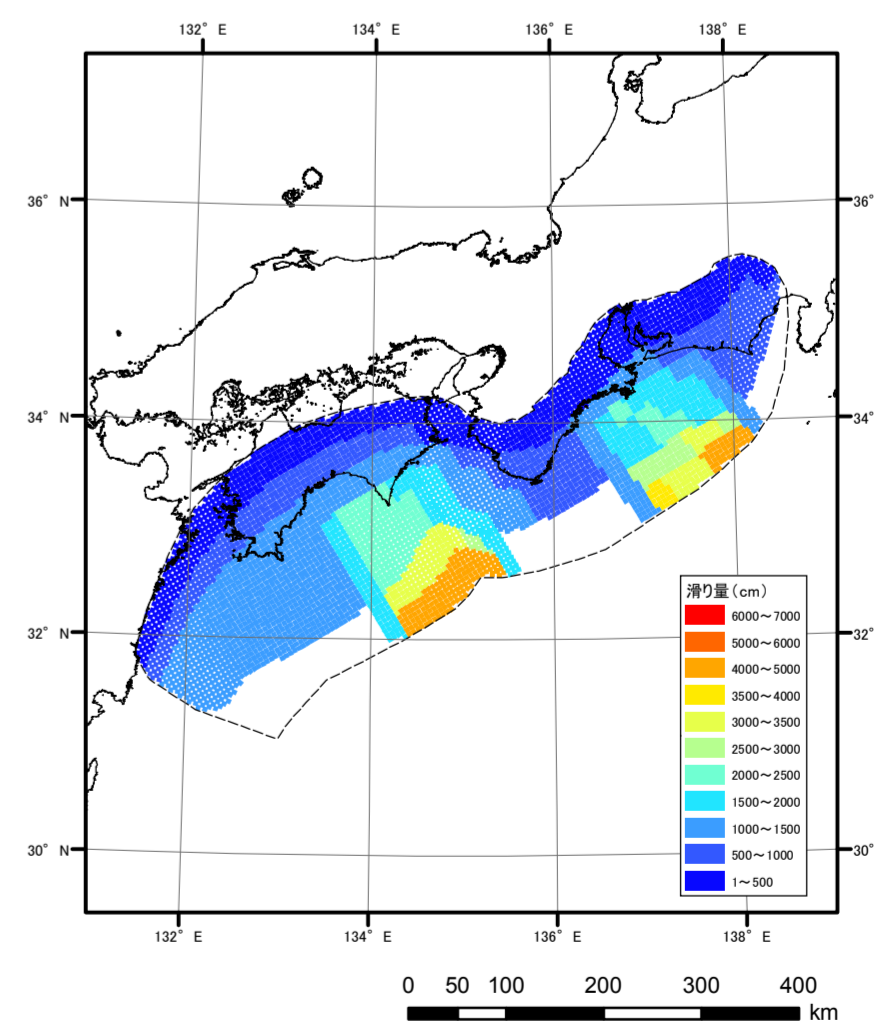
座標系：メルカトル図法
 測地系：世界測地系 (WGS84)

凡例

最大水位上昇

- 3~最大4.3m
- 2~3m
- 0.5~2m
- 0.5未満

断層モデル



ケース⑨「愛知県沖～三重県沖と室戸沖に『大すべり域+超大すべり域』

断層面積 S (km ²)	140,000
地震モーメント Mo (N·m)	5.3 X 10 ²²
平均すべり量 D (m)	8.8
モーメントマグニチュード Mw	9.1

本断層モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会（第二次報告）（平成24年8月29日発表）」により公表されたものである。使用した断層モデルは、内閣府より公表された11ケースの中から、本図の区域において、浸水面積が最大となるモデルを選定した。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 ・海上保安庁が作成する津波防災情報図に使用したデータ
 ・背景図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平28情復、第1474号)